

本研究科の入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）

東北大学大学院教育学研究科は、教育に関する高度な専門的知識・技能とそれらを支える倫理性並びに理論的基礎を有し、社会的ニーズを敏感に察知するとともに、自ら問題を発見し、教育に関する諸問題の解決を具体的に推進しうる研究者、高度職業人の育成を目指します。このため、学生の受け入れにあたっては、一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の枠を設けて入学試験を実施し、これらの教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

具体的には、倫理性並びに理論的基礎に支えられた専門的知識と技能をもって社会に貢献しうる高度職業人、さらには、教育科学の新たな発展に貢献する研究者を志す人材を求めます。

博士課程前期 2 年の課程の一般選抜試験では、専門的知識、外国語文献の読解力及び研究計画と研究意欲等を評価します。博士課程前期 2 年の課程の社会人特別選抜試験では、論理的思考力と文章表現力、研究計画と研究意欲等を評価します（臨床心理学コースでは専門的知識についても評価します）。博士課程前期 2 年の課程の外国人留学生特別選抜試験では、日本語の読解力と文章表現力、研究計画と研究意欲等を評価します（臨床心理学コースでは専門的知識についても評価します）。

博士課程後期 3 年の課程の一般選抜試験では、専門分野にかかる外国語文献の読解力、参考論文の内容及び研究計画等を評価します。博士課程後期 3 年の課程の社会人特別選抜試験では、参考論文の内容、研究計画等を評価します（グローバル共生教育論コースでは外国語文献の読解力についても評価します）。

なお、一般選抜、社会人・外国人留学生特別選抜の別を問わず、入学者は在職のまま修学することができ、修了時には博士課程前期 2 年の課程では修士(教育学又は教育情報学)の学位、博士課程後期 3 年の課程では博士(教育学又は教育情報学)の学位が授与されます。